



ジェネリック医薬品に関する 市民公開講座と健康フェア

日 時：平成24年12月9日(日) 13:00～17:00

場 所：秋田県総合保健センター2階大会議室(秋田市千秋久保田町6-6)

プログラム：13:00～17:00 健康フェア(バイタルチェック、健康相談等)

(講 演)

14:00～14:30「秋田県の医療費の現状とジェネリック医薬品」
全国健康保険協会秋田支部支部長 畠山 憲一 氏

14:30～15:30「ジェネリック医薬品の科学的評価」
昭和薬科大学薬剤学研究室教授 渡辺 善照 先生

15:30～16:00「ジェネリック医薬品使用推進への取り組み」
社団法人秋田県薬剤師会専務理事 鳥海 良寛 氏

主 催：秋田県薬剤師会、全国健康保険協会(協会けんぽ)秋田支部
共 催：NPO法人ジェネリック医薬品協議会

毎日のお薬を見直してみませんか？

「ジェネリック医薬品」で家計の負担が軽くなります！



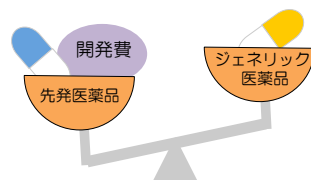
Q どうして安いのか？

A 開発費が少ないため、今のお薬より「安く」なっています

みなさんが服用している薬の多くは新薬（先発医薬品）と呼ばれるもので、研究開発には膨大なコストと長い年月を費やすため、開発メーカーは独占的に製造・販売が特許により保護されています。

しかし、特許期間（20年～25年）が切れると、他の開発メーカーも同じ主成分（有効成分）のジェネリック医薬品（後発医薬品）を製造・販売できるようになり、研究・開発コストが少なくて済むので先発医薬品より2～7割程度安くなる場合があります。

★ 院内処方から院外処方へ変更した場合など、処方せん料等の加算によりジェネリック医薬品に切り替えてもお会計が安くない場合があります。



Q 効き目や安全性はどう？

A 今のお薬と「効き目や安全性が同等」と国から承認されています

ジェネリック医薬品の主成分（有効成分）は、先発医薬品として長年使われてきた実績があります。また、ジェネリック医薬品は、「体内での薬の溶け方」や「血中に入る速度・濃度」が先発医薬品と同等かなど、国の厳しい試験や基準をクリアしたもののみが承認されます。

Q 先発医薬品と全く同じなの？

A 今のお薬より「飲みやすく」改良されているものもあります

ジェネリック医薬品は先発医薬品と主成分（有効成分）は同じですが、添加物などは違うものを使用できますので、形や大きさ、色、におい、味などが異なるジェネリック医薬品もあります。そうした違いを気にする人もいますが、添加物を変えたり、形を工夫して、飲みやすく改良されたジェネリック医薬品もあります。なお、添加物には安全性の確認された、薬の効果に影響を与えないものが用いられます。

飲みやすく改良されたもの

- 大きな錠剤の先発医薬品を小さな錠剤に



- 錠剤を甘くコーティング（糖衣錠）



Q 薬を変えるのは少し不安・・・

A 不安なときは短期間の「お試し」もできます

ジェネリック医薬品に切り替えたいけれど、長年服用してきたお薬を変えるのは少し不安という方は、短期間服用する「お試し（分割調剤）」もできます。お気軽に薬剤師さんに相談してみましょう。